

アメリカ・ミシガン州駐在員便り

2009/10/04 駐在員 宮村 佐衣子

【滋賀県特産品フェア】

10月4日(日)午後1時から4時まで、ノバイ市役所大ホールで、滋賀県主催、JBSD(デトロイト日本商工会)、JSD 女性部共催で、滋賀県特産品フェアを開催しました。

滋賀県内 19 企業にご協賛いただき、米国卸会社 Yamasho Inc.、ミシガン滋賀姉妹県州委員会、JCMU (ミシガン州立大学連合日本センター)、ミシガン州立大学日本人会、在デトロイト日本国総領事館、ノバイ市役所等、多くの方々の協力により、滋賀県の特産品をアメリカのミシガン州で紹介・販売することができました。



出展商品は、近江牛、近江米、ふなずし加工品、和菓子、信楽焼、唐橋焼、扇子、琵琶湖真珠、葦製品、染物、革製品、布製品等、食品 24 種・約 1500 個、工芸品 71 種・約 520 個が並びました。

展示、販売にあわせて、滋賀県観光ブース、姉妹県州・姉妹都市プログラム、JCMU のブースを設けて、滋賀県の PR と交流プログラムの PR も行いました。



その結果、ミシガンに住むアメリカ人、日本人計約 3,000 名(事務局発表)が来場。近江牛、和菓子が特に人気で開会前から長蛇の列ができました。食品は主に日本人が、工芸品は日本人とアメリカ人両方が購入してくださいました。

「祭り」イベントであるため、高額の商品が敬遠される傾向がありましたが、現地で好まれる商品の傾向が掴めた上、滋賀の様々な特産品を紹介することができ、現地の方に大変喜ばれました。販売売上は1万ドルを超え、商談が始まるケースもありました。

